

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年6月9日(2025.6.9)

【公開番号】特開2024-31533(P2024-31533A)

【公開日】令和6年3月7日(2024.3.7)

【年通号数】公開公報(特許)2024-043

【出願番号】特願2022-135168(P2022-135168)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/22(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 17/22 5 2 8

【手続補正書】

【提出日】令和7年5月30日(2025.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

異物除去デバイスであって、

内側チューブと、

前記内側チューブの周囲を取り囲んで配置された外側チューブと、

前記内側チューブの外周面と、前記外側チューブの内周面との間に配置された筒状の拡張体と、

を備え、

前記拡張体は、前記異物除去デバイスの軸線方向にスライド移動することにより、前記内側チューブと前記外側チューブとに対する相対位置を変更することができる、異物除去デバイス。

30

【請求項2】

請求項1に記載の異物除去デバイスであって、

前記拡張体は、

前記拡張体の先端と基端との両方が、前記外側チューブの先端よりも基端側に位置した第1位置と、

前記拡張体の先端が、前記外側チューブの先端よりも先端側に位置すると共に、前記拡張体の基端が、前記外側チューブの先端よりも基端側に位置した第2位置と、

の間でスライド移動する、異物除去デバイス。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の異物除去デバイスであって、

前記内側チューブの外周面と、前記外側チューブの内周面との間であって、前記拡張体よりも基端側には、環状の支持部材が備えられている、異物除去デバイス。

40

【請求項4】

請求項1または請求項2に記載の異物除去デバイスであって、

前記内側チューブの先端部は、前記外側チューブの先端よりも先端側に位置しており、

前記内側チューブの外周面のうち、前記外側チューブの先端よりも先端側には、前記内側チューブの外周面が外側に向かって隆起した隆起部が設けられている、異物除去デバイス。

50